

アドミッションポリシーとの関連

1. 専門職に関心を持ち、必要な科学的知識・技術の習得および探求に意欲のある者
2. 高い専門的知識・技能の習得に必要な基礎的学力を備えている者
3. 他者とよい人間関係を作るためのコミュニケーション能力を備えている者
4. 常に社会の変化に関心を持ち、専門職として社会に貢献する意欲のある者
5. 多様な価値観を尊重できる者
6. 論理的に思考し表現・行動できる者

作題意図

例示された生成 AI のコンテンツ例や医療現場での患者と医療職の関わりの例をもとに、医療現場での生成 AI の応用可能性やメリットについて論理的に考察できるかを問う。

模範解答

技術的な視点からのメリットに加えて患者や対象者が直接的ないし間接的に享受するメリットまでが記載されている

受付

生成 AI を活用した受付では、患者が診察券や保険証をスキャンするだけで手続きを完了でき、問診票の入力も AI がサポートするため記入ミスが減る。また、生成 AI の翻訳機能を用いることで、外国人患者でもスムーズに手続きが可能となり、言語の壁を感じることなく安心して医療サービスを受けられる。これにより、受付の待ち時間が短縮され、医療従事者の負担が軽減されるとともに、患者満足度の向上が期待できる。(193 文字)

診察

①生成 AI が診察中に医師と患者の会話を自動で記録し、重要な内容を電子カルテにまとめることで、医師は記録作業に時間を取られず、患者との会話に集中できるようになる。また、診察内容をもとに治療方針や薬の使い方をわかりやすい言葉でまとめて画面や紙で提供することで、患者は自分の病気や治療についてしっかり理解できる。これにより、医師の診察が効率的になるだけでなく、患者も安心して治療を受けることができるようになる。(201 文字)

②生成 AI が診察中に医師と患者の会話を自動で記録し、必要な情報を電子カルテにまとめることで、医師は患者との会話に集中できるようになる。また、翻訳機能を使えば、外国人患者も自分の症状を正確に伝えることができ、医師の説明も患者の言葉で理解できる。さらに、AI が問診や検査結果を整理して医師に提供することで、診察がスムーズに進み、患者は効率的かつ丁寧な診療を受けられるようになる。(186 文字)

検査・治療

生成 AI が検査結果をリアルタイムで解析し、異常があればすぐに医師に知らせることで、患者は迅速な診断と治療を受けられる。また、生成 AI が検査結果をわかりやすく整理して患者に説明することで、医療従事者の説明に関わる負担も軽減され、より他の業務時間を確保することができる。患者は自分の健康状態を正確に理解でき、不安を軽減できるなど、患者の安全と満足度を高めることができる。(183 文字)

薬の受け取り

生成 AI が処方箋データを薬剤師に自動で送ることで、薬の準備が早くなり、患者の待ち時間が短縮される。また、AI が薬の使い方や注意点をわかりやすく説明するため、患者は安心して薬を使用できる。さらに、翻訳機能により、外国人患者も正確に服薬方法を理解できる。薬局内で薬の受け取り順番も AI が管理し、受け取り時間を通知することで、患者は無駄な待ち時間なく薬を受け取れるようになり患者の満足度が向上する。(196 文字)

問題 採点基準

評価項目	20 点	10 点	5 点	0 点	配点
保健医療分野における技術・応用例の現実性 ・正確性 ・具体性 ・現実性	用いる生成 AI の技術が誤りなく具体的に記述され、保健医療分野における現実的な応用例が示されている(例:「文章生成の機能を使って診療記録の自動入力をする」など)。	用いる生成 AI の技術や応用例について記述されており、保健医療分野での活用を意識しているが、一部具体性や現実性が不足している(例:「生成 AI を使えば、医療従事者が作業を効率化できる」など応用例に触れているが、技術の詳細や具体的な活用方法がやや曖昧)。	生成 AI の技術や応用例について記述されているが、内容が抽象的で、現実性や具体性が乏しい(例:「生成 AI が医療に役立つ」など技術の具体性が欠けており、医療現場での活用方法が十分に示されていない)。	生成 AI の技術や応用例について全く記述されていない、または内容が誤解を招く記載になっている(例:「生成 AI を使うと医療が危険になる」→ AI の応用に関して否定的な誤解を招く内容や、完全に記述がない)。	20
医療従事者側のメリット	医療従事者の業務効率化や負担軽減、診療の質向上や安全性の向上など、具体的な生成 AI の活用に紐づく形で医療従事者が享受するメリットが詳細に記述されている(例:「スケジュール調整や記録自動化など具体的機能を通じて〇〇の業務が効率化される」)。	医療従事者のメリットについて記述されており、生成 AI の具体的な活用例に触れているが、一部詳細さや具体性に欠けている(例:「生成 AI が記録作業を補助することで、医師の負担が軽減される」→ 活用例には触れているが、業務効率化や質向上との具体的なつながりの説明が曖昧)。	医療従事者のメリットに触れているが、内容が抽象的で、生成 AI の具体的な活用や効果が十分に示されていない(例:「AI が医療従事者の仕事を助ける」→ 医療従事者のメリットについて言及があるものの、具体性が乏しく、効果をはっきりしない)。	医療従事者のメリットについて一切触れていない、または内容が誤解を招く記載になっている(例:「AI が医療従事者の仕事を混乱させる可能性がある」→ 誤解を招く記述や、全く記載がない)。	20
評価項目	30 点	20 点	10 点	0 点	配点
患者中心のメリット	患者が享受する心理的効果(安心感の向上、不安の軽減)や利便性(待ち時間の短縮、多言語対応など)、医療サービスへの満足度の向上などについて、生成 AI 活用の具体例と繋げて記載されている(例:「生成 AI が診療の順番をリアルタイムで通知することで、患者は待ち時間が明確になり、 <u>不安やストレスが軽減される。</u> また、 <u>診療の進行状況をスマートフォンで確認できるため、無駄な待機時間が短縮され、患者の満足度が向上する。</u> 」)	患者の心理的効果や利便性、満足度について記述されており、生成 AI の活用例にも触れているが、具体性や詳細さが一部不足している(例:「生成 AI を使ったリアルタイム通知機能で診療の順番がわかるため、患者は待ち時間が減り安心できる。」→ 効果は記述されているが、具体性や説明の深さにやや欠ける)。	患者中心のメリットについて軽く触れているが、生成 AI との関連がほとんど示されておらず、具体性が欠けている。(例:「AI が患者に役立つ。」→ 技術や具体的な活用例についてほとんど触れられておらず、表面的な表現にとどまる)。	患者中心のメリットについて一切記述されていない、または内容が誤解を招く記載になっている(例:「生成 AI で患者が不安になる。」→ 患者中心のメリットに全く触れず、むしろネガティブな影響を述べている)。	30
回答の論理性と文章の体裁	回答が論理的で一貫性があり、文法や句読点の誤りがなく、簡潔で読みやすい文章になっている。	回答が論理的で一貫性があるが、一部文法や句読点の誤りが見られる、もしくは簡潔さや読みやすさに若干の改善余地がある。	回答が論理性に欠ける部分があり、一貫性が弱い。文法や句読点の誤りが目立ち、読みやすさが損なわれている。	回答に論理性が全くなく、文法や句読点の誤りが非常に多い。また、意味が通らない、もしくは内容が書かれていない。	30

作題意図，評価基準概要

問題2 アドミッションポリシーとの関連

1. 専門職に関心を持ち、必要な科学的知識・技術の習得および探求に意欲のある者
2. 高い専門的知識・技能の習得に必要な基礎的学力を備えている者
3. 他者とよい人間関係を作るためのコミュニケーション能力を備えている者
- ④. 常に社会の変化に関心を持ち、専門職として社会に貢献する意欲のある者
- ⑤. 多様な価値観を尊重できる者
- ⑥. 論理的に思考し表現・行動できる者

作題意図

戦後 60 年以上にわたり日本人のものの考え方を捉えた調査結果を基に、どのような変化が見られるかを読み取り、その変化に影響を与えた要因として日本の社会情勢と関連づけ、論理的に推察できるかを問う。

解答例

日本人の性格（長所）について、人々の考え方が顕著に変化しているのが、2003 年から 2013 年の 10 年間の「礼儀正しい」「親切」である。いずれも 20%程度的大幅な上昇が見られ、「勤勉」「粘り強い」にも上昇がみられている。この間に日本国内では、新潟県中越地震（2004 年）や東日本大震災（2011 年）といった、未曾有の大災害が発生している。災害は多くの死傷者を生み、人々のこれまでの社会生活を一変させ、心身へ深い傷跡を残す。その一方で、人々は共に助け合い、手を取り合い、復興へとあきらめずに勇敢に立ち向かっていく姿は、日本人の礼儀正しさや親切さというものを強く抱くことにつながったのではないかと推察する。（286 字）

採点基準は別紙の通り

問2 採点基準

問 この図から読み取れる日本人の性格（長所）の変化を説明し、その変化に影響を与えた要因を日本の社会情勢と関連づけて論じさせることから、以下の採点基準とする。

	A	B	C	配点
図の読み取り ・推移	着目した 10 年間に日本人の性格（長所）の何が、どのように変化しているのか明確に述べられている。 (30 点)	着目した 10 年間に日本人の性格（長所）の何が変化しているか、もしくはどのように変化しているかが述べられているが、明確ではない。 (15 点)	着目した 10 年間が明確ではなく、日本人の性格（長所）の何が変化し、どのように変化しているかも述べられていない。 (0 点)	/30
着目した 10 年間の日本の社会情勢 ・社会情勢の理解	日本の社会情勢が明確に述べられている。 (30 点)	日本の社会情勢を挙げているが明確ではない。 (15 点)	日本の社会情勢が述べられていない。 (0 点)	/30
日本人の性格の変化と社会情勢との整合性および理論的に論じる力 ・変化と社会情勢との整合性 ・理論的	日本人の性格（長所）の変化と影響を与えた要因として挙げている社会情勢には整合性があり、理論的に論じることができている。 (30 点)	日本人の性格（長所）の変化と影響を与えた要因として挙げている社会情勢には整合性が欠けている、もしくは理論的に論じることが欠けている。 (15 点)	日本人の性格（長所）の変化と影響を与えた要因として挙げている社会情勢に整合性がなく、理論的に論じることができていない。 (0 点)	/30
文章の体裁	文法の間違いがなく、句読点が適切で誤字脱字がない。読みやすい文章になっている。 (10 点)	文法や句読点、誤字脱字が一部見られ、読みやすさに欠ける文章になっている。 (5 点)	文法や句読点、誤字脱字が多数見られ、読みにくい文章になっている。 (0 点)	/10

R7 問題3

アドミッションポリシーとの関連

5. 多様な価値観を尊重できる者
6. 論理的に思考し表現・行動できる者

作題意図

「悪意がある」あるいは「人を傷つける」ものであるとされる「悪口」を、そのような従来の考え方とは異なる視点から説明する一程度の長さの文章を読み、その説明の要点を特定し、簡潔に要約することで理解力を問い、「悪口」を成立させる鍵である「社会」を多角的に眺め、その異なる性質、およびそれが人々の社会生活におよぼす影響を説明することによって思考力を問う。

解答例

問1.

悪口とは、人が自分より下に見ている標的に発する言葉であり、その標的には周囲の人々から軽んじられ、社会の中で生きづらくなる悪影響をもたらす言葉である。

(スペース含め 74 字)

問2.

例1) -1

本文の悪口からは、人々の間にランク付けをもたらすという社会の性質、つまり他者を気にする状況が見える。下と見なされた人は劣っていると軽んじられ、社会の中で不利益を被る可能性が高まる。一方、他者に対して関心を抱かないことが許されることも社会の性質の1つである。そこでは、自分と他者を上下、優劣で比較しない結果、他者との適度な距離感を保ち、その時々に応じた人間関係を結び、自分らしく生きられる可能性が高まる。

(スペース含め 201 字)

例1) -2

本文の悪口からは、人々の間にランク付けをもたらすという社会の性質、つまり他者を気にする状況が見える。下と見なされた人は劣っていると軽んじられ、社会の中で不利益を被る可能性が高まる。一方、他者に対して関心を抱かないことが許されることも社会の性質の1つである。そこでは、他人に煩わされたくないに関わりを拒否すると、相互に有効な協力関係が成り立たず、社会生活に不便や不利益が生じる可能性が高まる。

(スペース含め 195 字)

採点基準は別紙のとおり。

R7 問題3 採点基準 問1 (40点)

ポイント	A	B	C	D
要点の特定	2つの要点が明確に書かれている	2つの要点がかかれているが、2つ、あるいはいずれか1つが、不明瞭である（論旨の理解が不十分である）	いずれか1つの要点しかかかれていない、かつ／あるいは、要点の背景が書かれている	2つの要点も、その背景についても書かれていない
30	30	20	10	0
構成・表現	適切な表現（主語と述語の一致、文体の統一、誤字脱字がない）で、読みやすい流れで示されている		適切な表現（主語と述語の一致、文体の統一、誤字脱字がない）で書かれている	
10	10		5	0
				主語と述語の一致、文体の統一、誤字脱字等に関わる表現が不適切である

悪口の要点

要点1 悪口とは、自分が上〔優位〕であると思える標的〔下と見なしている人〕に対して向ける言葉である

要点2 悪口を言われた人〔標的〕は、軽んじられる〔なめられる・軽く扱われる〕という悪影響を被る

2つの要点の背景

悪口は、社会〔集団・コミュニティ〕に存在する「ランク付け」が生み出す言葉である

R7 問題3 採点基準 問2 (60点)

ポイント	A	B	C	D
悪口の背景としての社会的性質・影響に対する理解	悪口の背景にある社会の性質とその影響を論理的に説明できる	悪口の背景にある社会の性質とその影響の説明（論理）に飛躍がある	悪口の背景にある社会の性質とその影響の説明が不適切である、あるいは不十分である	悪口の背景にある社会の性質とその影響に対する説明が書かれていない
20	20	10	5	0
社会の複雑さ、可能性や矛盾等への関心とその考察	悪口の背景にある社会の性質とは異なる性質が挙げられ、その性質による影響についての説明が論理的に述べられている	悪口の背景にある社会の性質とは異なる性質が挙げられているが、その性質による影響の説明に論路的飛躍がある	悪口の背景にある社会の性質とは異なる性質が挙げられているが、その説明による影響の説明に論理性が欠け、内容に無理がある	悪口の背景にある社会の性質とは異なる社会の性質、その性質による影響が挙げられていない（説明が書かれていない）
30	30	20	10	0
構成・表現	適切な表現（主語と述語の一致、文体の統一、誤字脱字がない）で、読みやすい流れで示されている	適切な表現（主語と述語の一致、文体の統一、誤字脱字がない）で書かれているが、2つの性質に対する説明の構成が整えられていない	主語と述語の一致、文体の統一、誤字脱字等に関わる表現が不適切であり、説明の内容もわかりにくい	
10	10	5	0	